

(素案)

第2期

徳島市子ども・子育て支援事業計画

(概要版)

# 徳島市における子どもや子育てを取り巻く状況と主な課題

## 子どもの育ちを取り巻く環境

### 1 人口・世帯の状況

- 本市の総人口は、令和12年までに24万人弱へと減少する予測。
- 人口減少に伴い、児童数も減少する見込み。
- 核家族・単独世帯が増えている影響により、世帯数は増加傾向にある。

### 2 人口動態の状況

- 平成17年から死亡が出生を上回る自然減の状況。
- 社会動態は増加した年もあったが、平成30年は減少。
- 県内の婚姻件数、離婚件数は、ともに減少している。

### 3 就労・雇用の状況

- 25～44歳の女性の就業率は上昇。
- 男性の育休取得率は非常に低い水準にある。

### 4 認定こども園・保育所・幼稚園等の状況

- 近年は私立認定こども園・認可保育園等の利用者数が増えており、過去5年間で約1,100人以上増加。
- 3歳未満児の保育所等の利用率が増加傾向にある。
- 令和元年度の保育所待機児童数は39人。

徳島市も子どもが減ってるんだね。でも、保育所に入りたい人はどんどん増えてるし、充実させなきゃいけないこともたくさんあるみたい。



これらの環境を踏まえた4つの主要課題

## 主要課題1 子ども本位の教育・保育事業の提供

- ① すべての子どもに対する質の高い教育・保育事業の提供
- ② 教育・保育を一体的に担う人材の確保・育成
- ③ 幼児期における同年齢や異年齢の子どもと主体的に関わる機会の確保
- ④ 発達障害を含む特別支援の充実
- ⑤ 子どもの貧困対策の推進

## 主要課題2 多様化する保育ニーズへの対応

- ① 保育の必要性の認定要件の緩和等への対応
- ② 乳児を中心とする潜在的保育ニーズへの対応

## 主要課題3 持続可能なサービス供給体制の確保

- ① 将来的な教育・保育事業のニーズ量を踏まえた供給体制の整備
- ② 教育・保育提供区域ごとのサービス確保

## 主要課題4 妊娠・出産期から学童期まで切れ目のない支援

- ① 働く保護者が子どもと向き合える環境づくり
- ② 育児疲れなどに起因する児童虐待の防止
- ③ 子どもの育ちに応じたきめ細かな情報提供
- ④ 小学校への円滑な接続

## 徳島市が目指す子ども・子育て支援の姿

一人一人の子どもがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を感じながら成長していくことが可能となる環境を整備すること。

徳島市では目指す姿の実現に向けて、3つの理念に基づく取組みを進めます。



### 基本理念 1

#### 質の高い教育・保育の提供



保護者の就労状況や家族の状況その他の事情にかかわらず、すべての子どもが質の高い教育・保育を受けられる環境を整備します。

### 基本理念 2

#### 教育・保育の量の確保



特に0・1歳児における潜在的保育ニーズが高い状況を踏まえ、教育・保育の量の確保を図ることにより待機児童問題を解消します。

### 基本理念 3

#### 地域の子ども・子育て支援の充実



妊娠・出産期から学童期まで切れ目なく、保護者に寄り添いながら相談や情報提供、学びの支援を行うとともに、子どもの健全な発達のための環境を整えます。

## 施策の体系

施策の柱	具体的施策
総合的な子ども・子育て支援の推進	子ども・子育て支援に係る体制強化
	子育てに伴う経済的負担の軽減
	子育てと仕事や社会活動の両立支援
質の高い教育・保育の提供・拡充	就学前における教育・保育環境の充実
	教育・保育に関わる職員の資質向上
	小学校への円滑な接続の支援
身近な地域における子ども・子育て支援の充実	子育てに関する相談・支援体制の充実
	不定期な保育サービスの拡充
	妊娠・出産期における切れ目のない支援
	親と子の健康確保
	きめ細かな支援を要する家庭への対応
子どもや子育てにやさしいまちづくりの推進	安心・安全な遊び場所の整備
	防犯・防災・交通安全対策の推進

# 徳島市子ども・子育て支援事業計画における数値目標

## 教育・保育

(幼稚園、保育所、認定こども園、地域型保育事業)

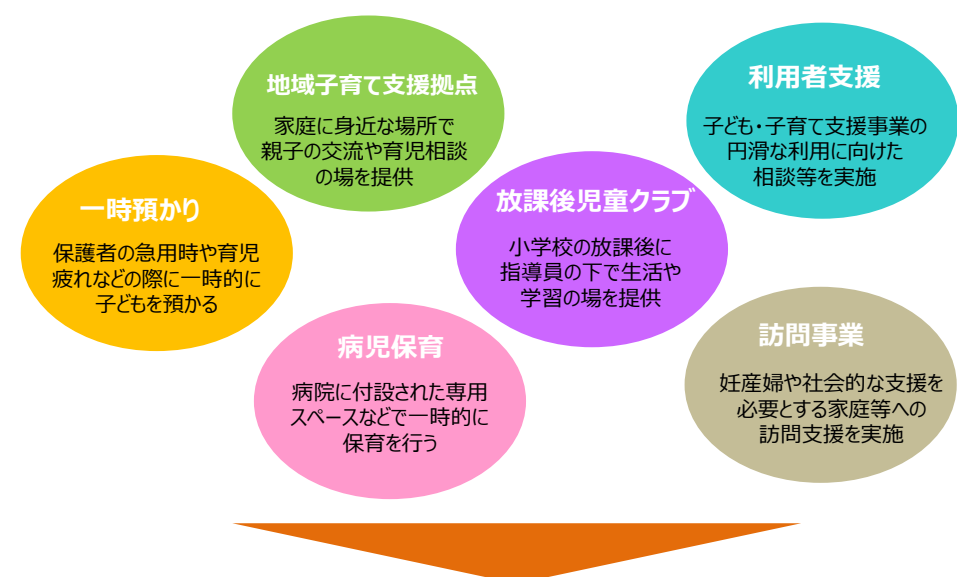


### 教育・保育提供区域 = 中学校区ブロック (6区域)

子ども・子育て支援法では、地理的条件、人口、交通事情、教育・保育の利用状況、教育・保育施設の整備状況などを踏まえて、事業量の需給調整を行う「教育・保育提供区域」を設定しなければならないとされています。

## 地域子ども・子育て支援事業

(地域子育て支援拠点、一時預かり、放課後児童クラブ など)



計画では、これらの事業についても教育・保育同様に、必要な事業量の見込み（目標事業量）を定め、計画的に量の確保を進めることとされています。

徳島市が子どもを生き、育てたいまちになるよう、みんなで子ども・子育て支援の取組みを進めましょう!!

### 令和6年度における教育・保育の量の見込みと確保の内容（目標事業量）

下表の見方 上段：量の見込み 下段：確保の内容 なお2号認定の量の見込みについては、幼稚園の利用希望が強い人を「教育」、保育の利用希望が強い人を「保育」欄に表示しています。

提供区域	1号認定	2号認定		3号認定	
		教育	保育	1・2歳	0歳
Aブロック	462人 966人	120人	1,114人	682人 803人	194人 254人
Bブロック	252人 986人	139人	808人	549人 518人	166人 146人
Cブロック	102人 760人	114人	734人	499人 479人	100人 132人
Dブロック	76人 67人	51人	462人	262人 230人	77人 74人
Eブロック	11人 155人	4人	90人	64人 52人	8人 8人
Fブロック	73人 600人	51人	306人	221人 236人	64人 75人